

2月定例議会 町政報告

町政報告要旨

◆第6次小坂町総合計画の策定状況について

令和3年度から12年度までの10年を期間とした策定作業については、平成31年度と令和2年度において取り組んでいるところですが、昨年6月に方針を決定し、第5次総合計画における事務事業の評価等について作業を進めているほか、小中学生及び抽出した町民を対象に「まちづくりアンケート」を実施しています。

また、昨年12月には、初めて、高校生11人による「まちづくり未来委員会」を設置し、若い世代の町民の代表として、意見を伺っています。

さらに、12月には、総勢23人の「まちづくり委員会」を組織し、「福祉・健康」「教育・文化」「産業」「生活・環境」の4部会に分け、これまでに2回開催し熱心な討議をいただいています。

まちづくり委員会では、「各分野における地域の課題」や「課題の解決策」等が話し合われ、3月には「提言書」が町へ提出される予定になっています。

これを受け、町では庁内ワーキンググループ・政策調整会議において「総合計画の素案」等についてとりまとめ、振興計画審議会にはかり、協議していただくこととなります。

◆「町長との懇談会」について

まちが目指す姿である「ひととまち」が輝く、躍動する小坂に向けて、多くの町民からの意見などを反映し、また、積極的にまちづくりに参加していただくために、各地区自治会連絡協議会ごとに「町長との懇談会」を開催し、総勢57人にお集まりいただきました。

各地区からは、「空き家対策の推進」、「高齢者の見守り対策」、「アドウ栽培農家の拡大」、「和井内エリア整備」など、様々な意見が出されました。

各地区から出された意見等は、第6次小坂町総合計画の策定に向けて、活かしていきたいと考えています。

◆平成30年度決算に係る財務書類について

今回は一般会計等、地方公営事業会計、公営企業会計の町の会計の範囲である「全体会計」を対象に作成しています。

主なものとして、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているかを示す資産老朽化比率は51・94%で、100%に近いほど老朽化が進行していることになり、将来世代の負担の比率は53・68%となっています。住民1人あたりの負債額は、199万6千円となっており、平成29年度より減少しています。これは負債合計額における地方債残高が減少したことによるものです。基礎的財政収支

令和2年第1回町議会が2月17日から28日までの会期で開かれ、予算・条例一部改正等の40議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

については、投資的経費が前年度と比較し減少したことから、投資的経費に充当されていた一般財源が経常経費として使われたことから、数値の改善が見られたものです。

貸借対照表の負債の総額は、地方債残高が減少傾向にあり、将来世代の負担が減ってきています。

資産を活用するためには、コストがかけられているか、地方債を経常的に確保できる資産で返済した場合何年で返済できるかの返済能力を測ることや、資産明細表を利用して行政目的別等の資産老朽化比率を算定するなど、財務書類を活用し分析することによって、町の財政状況の特徴や課題を多面的に把握することができ、今まで以上に、他団体と比較して町の位置づけを明らかにすることが可能となります。

教育行政報告要旨

◆各種大会での町内小中学校児童生徒の活躍について

1月5日から7日まで開催された秋田県ミニバスケットボール大会に出場した「小坂レッドウェーブ」は、準々決勝、準決勝と逆転で勝利し、決勝の大舞台でも、最後まであきらめることなく、元気にいっぱいプレーで初の準優勝という快挙を果たしました。

1月10日から12日まで行われた「秋田県中学校スキー大会」で

は、小坂中学校女子リレーが準優勝し、総合で小坂中学校女子は3年ぶりに優勝を果たしました。また、2年・成田絆さんがジャンプと複合で優勝、3年・木村哉人さんが複合で準優勝、女子では2年・本田桜さんがクラシカルで3位、金丸典加さんがフリーで3位になるなど、多数入賞しました。

また、「東北中学校スキー大会」でも、ジャンプと複合で成田絆さんが優勝、女子リレーも準優勝し、小坂中学校から男女6名の選手が全国大会への出場権を得て、2月5日から8日まで開催された「全国中学校スキー大会」では、2年・成田絆さんがジャンプと複合で準優勝するなど健闘しました。

1月25日には「鹿角小学校スキー大会」で、5年男子クラシカルで金丸拓寛さん、同じく女子で安保胡春さん、6年女子クラシカルで澤田大芽さんがそれぞれ優勝し、男子リレー準優勝、女子リレーが優勝という成績を収めました。

また、秋田県読書感想文コンクールにおいて、小学校低学年の部1、138編のなかから、3年工藤逢夢さんが秋田県教育長 優秀賞を受賞しました。

他にも、スクールバンド部や吹奏楽部のアンサンブルコンテスト県大会出場などスポーツ・文化両面での活躍が目立ちました。

主な議決事項

● 条例の一部改正

- ◆小坂町印鑑条例
 - ◆職員の職務の宣誓に関する条例
 - ◆特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例
 - ◆小坂町招致外国青年の給料及び旅費に関する条例
 - ◆単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例
 - ◆小坂町有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例
 - ◆小坂町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
 - ◆小坂町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例
 - ◆小坂町廃棄物の処理及び清掃に関する条例
 - ◆小坂町介護保険条例
 - ◆小坂町交通指導員条例
 - ◆小坂町防犯指導員条例
 - ◆七滝活性化拠点センター設置条例
 - ◆小坂町営住宅設置条例
 - ◆小坂町道路占用料徴収条例
 - ◆小坂町公民館使用料徴収条例
 - ◆小坂町交流センター使用料徴収条例
 - ◆小坂町運動場使用料徴収条例
- その他
- ◆小坂町過疎地域自立促進計画の一部変更
 - ◆指定管理者の指定 2件
 - ◆元年度補正予算 8件
 - ◆2年度予算 11件